

第4章 良好な景観の形成に関する方針

1. ゾーン別の方針

(1) 山地景観ゾーン



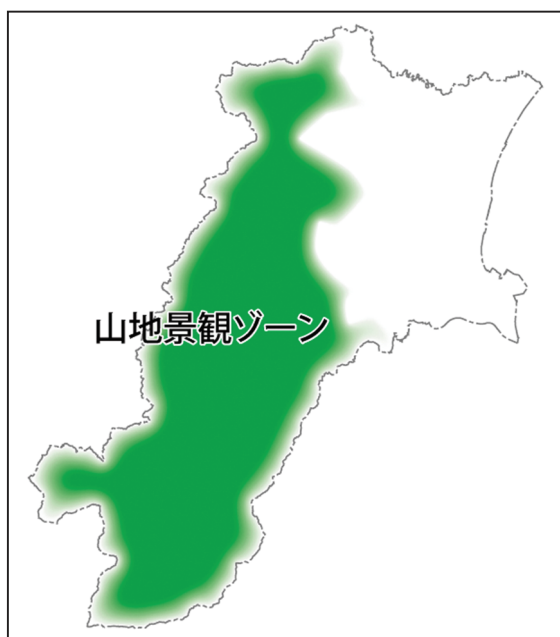
三多気から山並みへの眺望(美杉地域)

◆概要

本ゾーンは、本市の西部から南西部に位置し、その大部分を自然豊かな森林が占めています。市域西端の布引山地や高見山地などの山々が連なる雄大な姿は、市内の様々な場所から見ることができ、市民に広く親しまれている景観ともいえます。

本ゾーンには、自然公園に指定されている地域も多く、景勝地として多くの方に親しまれるとともに、本ゾーン内を通る街道沿いには、宿場町の名残をとどめる地区も見られ、歴史を大切にしたまちづくりの取組も行われています。

また、山麓部では、斜面を利用した棚田や茶畑などをはじめとした農地も多く、これらの営みにより培われてきた景観は、日本の原風景ともいえる雰囲気醸し出しています。



◆景観形成の方針

《山並みと調和した美しい山里を守る景観形成》

山地景観ゾーンの山並みは、本市の景観の背景となっており、市全域においても大切な景観です。また、自然と人の営みが美しく調和した山里の景観は、日本の原風景であり、懐かしさや安らぎを感じるかけがえのない景観となっています。

これらの景観が保全されるよう、森林の適切な維持管理を促すとともに、長い間地域の方によって育まれてきた、自然と調和した山里の景観を守り、市民が愛着や誇りを、来訪者が安らぎや魅力を感じるような景観の形成を図ります。

森林景観



大洞山（美杉地域）

農地・集落景観



桂畑（美里地域）

生活拠点景観



伊勢八知駅周辺（美杉地域）

歴史的景観



北長野（美里地域）

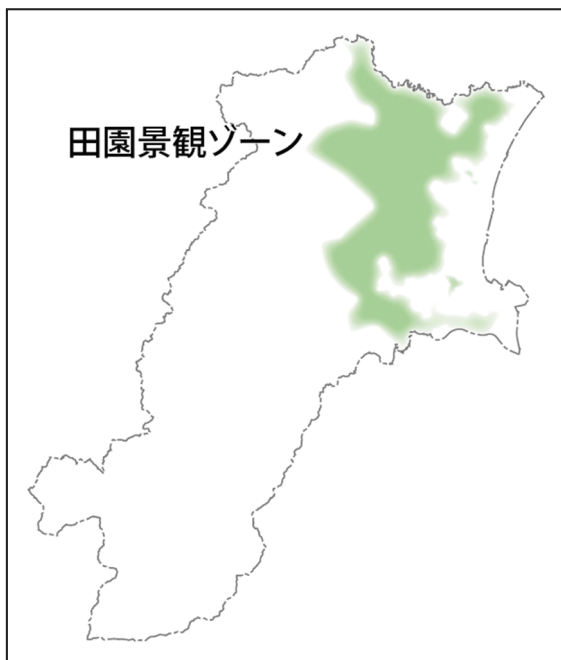
景観類型別の景観形成方針

景観類型	景観形成方針
森林景観	雄大で美しい森林景観の保全に努め、これらの山並みへの眺望の保全や調和を大切にしたい景観形成を図ります。
農地・集落景観	自然と人の営みが調和した日本の原風景ともいえる景観の保全に努め、これらとの調和を大切にしたい景観形成を図ります。
生活拠点景観	森林に囲まれた地域の生活拠点であることを意識した、ゆとりと落ち着きを感じる景観形成を図ります。
歴史的景観	街道沿いに残る歴史的まちなみの保全に努め、周囲の景観資源との調和に配慮した景観形成を図ります。

(2) 田園景観ゾーン



安濃平野の農地(安濃地域)



◆概要

本ゾーンは、本市の中央部やや東側に位置する農地を主体としたゾーンです。

本ゾーンは、西部の豊かな山地に源を発する河川により形成された堆積平野を主とし、河川沿いの肥沃な土地は、稲作をはじめとした農地として利用されるとともに、農村集落が点在し、広がり開放感あふれる空間となっています。

一方で、伊勢自動車道や国道23号中勢バイパスなど広域幹線道路が縦断しており、交通の結節点の周辺では、市街化が進行している地域もあります。また、本ゾーン内には、大規模な住宅団地や工業団地などが点在し、都市近郊における産業や居住の受け皿ともなっています。

◆景観形成の方針

《水と緑豊かな広がりある景観形成》

田園や縦横に走る水路、その周囲の里山などは、四季の移ろいを身近に感じさせてくれるとともに、その広がりある景観は、開放感や安らぎを感じさせてくれます。また、点在する集落は、田園と調和した落ち着いた景観となっています。

田園や里山などの適切な維持管理を促すことでその保全に努めるとともに、市民が水や緑を身近に感じることものできるような広がりある景観の形成を図ります。

農地・集落景観



片田長谷場町(津地域)

住宅地景観



杜の街(河芸地域)

工業地景観



ニューファクトリーひさい(久居地域)

歴史的景観



南河路(津地域)

景観類型別の景観形成方針

景観類型	景観形成方針
森林景観	四季の彩りが豊かな森林景観の保全に努め、これらとの調和を大切に景観形成を図ります。
農地・集落景観	河川沿いに広がる農地や風情ある集落などの保全に努め、調和のとれた広がりある景観形成を図ります。
住宅地景観	快適な住環境の保全に努め、緑豊かなゆとりある景観形成を図ります。
工業地景観	周囲の豊富な自然と調和し、圧迫感を与えないよう、ゆとりと潤いある景観形成を図ります。
生活拠点景観	地域の拠点にふさわしい潤いと落ち着きを感じる景観形成を図ります。
歴史的景観	街道沿いに残る歴史的まちなみの保全に努め、周囲の景観資源との調和に配慮した景観形成を図ります。

(3) 市街地景観ゾーン



津駅周辺の市街地への眺望（津地域）



◆概要

本ゾーンは、本市の東側に位置し、伊勢湾沿いの地域を主体としています。

本ゾーンは、古くから城下町や街道沿いの集落として人々が生活を営んできた場所を中心に都市化してきた地域であり、中高層ビルや官公庁が集積した賑わいや活力のある商業業務地をはじめ、都市基盤の整った住宅地や工業地、街道沿いの宿場町の名残をとどめる地区などが見られます。

また、本ゾーンの東部には、伊勢湾に沿って自然公園に指定されている白砂青松の海岸線が見られます。

なお、本ゾーンは、さらに5つの景観特性が見られることから、次頁以降で、5つの景観特性ごとに景観形成方針を示します。

◆景観形成の方針

① 商業業務地

《賑わいの中にも秩序ある景観形成》

安土桃山時代より城下町として栄え、近代化以降も着実に都市基盤の整備が進められてきた本市の商業業務地は、飲食店や百貨店などの商業施設、公共施設やオフィスなどの業務施設が集中し、中高層ビルが建ち並ぶ都市らしい景観となっています。

商業業務地は、本市で最も人が行き交う場所であるため、本市の活力となる賑わいを大切にするとともに、賑わいの中にも秩序だった品格を感じさせるような、質の高い景観形成を図ります。

商業業務地景観



久居駅周辺（久居地域）

住宅地景観



丸之内養正町（津地域）

沿道景観



国道 23 号丸之内周辺（津地域）

歴史的景観



津観音（津地域）

景観類型別の景観形成方針

景観類型	景観形成方針
商業業務地景観	本市の主要な市街地として市民が誇れる景観形成と、商業業務地として人々を惹きつける賑わいと潤いある景観形成を図ります。
住宅地景観	利便性の高い住宅地として、周辺環境との調和に配慮したゆとりと潤いある景観形成を図ります。
沿道景観	多くの人が行き交う本市の大動脈として、連続性に配慮した賑わいと潤いを感じる景観形成を図ります。
歴史的景観	本市の代表的な歴史的景観の保全に努め、これらと市街地との調和を大切にした景観形成を図ります。

② 住宅地

《調和と潤いが醸し出す落ち着きある景観形成》

住宅地は、人々の生活の基盤となる空間であり、整ったまちなみには、安心感を、緑が豊富なまちなみには、安らぎを感じるように、景観は、快適な住環境における大きな要素となります。

住宅地において良好な景観を育てていくため、潤いを与える街路樹や宅地内緑化の促進など、緑豊かな住環境の創出と、周囲との調和など人々が住みたくするような魅力あふれる景観形成を図ります。



三重大大学(津地域)



大谷町(津地域)



緑の街(津地域)



南が丘(津地域)

景観類型別の景観形成方針

景観類型	景観形成方針
文教地景観	文教施設が集積する潤いある景観の保全と、教育・研究・文化活動にふさわしい落ち着きある景観形成を図ります。
住宅地景観	閑静な住宅地として、まちなみの連続性と潤いを大切にした落ち着きある景観形成を図ります。

③ 工業地

《周辺の環境と調和したゆとりと潤いある景観形成》

モノづくりの拠点である工業地では、比較的規模の大きな建物などが立地することが多く、周囲の景観に圧迫感や無機質な印象を与えることがあります。

産業が景観にも良い影響を与えるよう、圧迫感を低減する工夫や緑化の充実を求めるなど周囲の自然環境やまちなみとの調和を意識し、ゆとりと潤いある景観形成を図ります。



雲出鋼管町(津地域)



香良洲工業団地(香良洲地域)



高茶屋(津地域)



河芸町東千里(河芸地域)

景観類型別の景観形成方針

景観類型	景観形成方針
工業地景観	周囲に圧迫感を与えないよう、ゆとりと潤いある景観形成を図ります。
住宅地景観	快適な住環境の保全に努め、周辺の景観と調和した緑豊かな景観形成を図ります。
沿道景観	大規模工場や商業施設などが共存した、連続性に配慮した賑わいと潤いを感じる景観形成を図ります。

④ 一般市街地

《地域の個性が感じられる景観形成》

公共公益施設が集中する地域や、工業地、古くからの住宅地や幹線道路沿道に形成されたロードサイドショップが建ち並ぶ商業地など、様々な土地利用が見られる一般市街地エリアでは、その地域の特性に応じて、工業地では、ゆとりや潤いを、住宅地では、落ち着きや潤いを、農地や樹林地では、それらの保全を促進するなど、地域の個性を大切にした景観形成を図ります。

文教地景観



三重県総合文化センター（津地域）

工業地景観



中勢北部サイエンスシティ（津地域）

沿道景観



国道 23 号三重大学周辺（津地域）

歴史的景観



阿漕町津興（津地域）

景観類型別の景観形成方針

景観類型	景観形成方針
文教地景観	文教施設が集積する潤いある文化的な景観の保全と、教育・文化活動にふさわしい落ち着きある景観形成を図ります。
住宅地景観	快適な住環境の保全に努め、緑豊かな落ち着きある景観形成を図ります。
工業地景観	周囲に単調さや圧迫感を与えないよう、ゆとりと潤いある景観形成を図ります。
沿道景観	商業施設などが共存した、連続性に配慮した賑わいと潤いを感じる景観形成を図ります。
歴史的景観	街道沿いに残る歴史的まちなみの保全に努め、周囲の景観資源との調和に配慮した景観形成を図ります。
農地・集落景観	市街地の中であって潤いを与える農地の保全に努め、集落の家並みとの調和に配慮した景観形成を図ります。

⑤ 海岸

《白砂青松と調和した開放感ある景観形成》

本市の特徴でもある南北に長い海岸は、その多くが白砂青松の海岸として古くから知られており、市民は、もとより多くの来訪者に親しまれています。海岸は、本市の景観を構成する重要な要素であり、安らぎや賑わいを感じさせてくれます。

このような海岸の景観を保全するために、松林や堤防などを含めた海岸の適切な管理を促進するとともに、海岸に接する地域においては、自然を体感できる開放感ある景観形成を図ります。



工業地景観

マリーナ河芸（河芸地域）



砂浜景観

阿漕海岸・御殿場海岸（津地



工業地景観

水産加工場（津地域）



砂浜景観

香良洲浦（香良洲地域）

景観類型別の景観形成方針

景観類型	景観形成方針
砂浜景観	美しい自然景観の保全に努め、海岸における開放感と親水性に配慮した景観形成を図ります。
住宅地景観	海辺に近接する住宅地として、海との調和を大切にした解放感や緑あふれる景観形成を図ります。
工業地景観	海辺に近接する工業地や港湾などに対し、周囲に圧迫感や無機質な印象を与えないよう、海辺や松林、港湾などとの一体感を感じられる景観形成を図ります。